




本家 松金油所

家傳油は倭に私先祖又三郎工まさ香具加茶此藏
 お極製方いづれ始はうりのく代々家傳お
 一子一傳し秘方任來賣弘の功能才一好けを
 さう或ハあ白髪改中此種お取痛改換上を
 をさう歩小ば油をかり湯つういし如耐ハ湯
 ありちちち油いりちち小つちちいもつ
 湯之は何いし或之六すみちちちちち
 九子三は等Pはちも何くぬちちちちち
 何つ湯之ちちちちちためし湯洗てさち
 ちち所存ちちちちちち湯洗列位目
 無類松金油し即称美法下沫所見質存目
 徳島仕を國々も樹之御用請為作有糸袋
 然而近身世も給愛似也他を好此功能書記
 或も此紙を枝為仕頼給く有之世然も此
 此誠法之六似也と本方とを各列分列位
 此いも湯洗お油不交か所方之瓶似也油
 を松金油と以枝病信版之と一秋交有ち
 お改即湯地おあく愛弘不湯枝病中上は
 御用之美法作等二さ下は依之家傳他名附
 不附尤お記一本人即洗以上

防刺岩國本町一丁目
本家 松金屋又三郎製


京都御幸町姉小路上下
賣所 羨濃屋勘右衛門店

梅香松金油並花之通

- 六印 ^{入高付} 六十八文 ^{入高付} 百廿五 八十三文
 - 八印 ^日 七十五文 ^日 百拾五 八十八文
 - 百印 ^日 七十五文 ^日 百拾五 九十五文
 - 梅香松金油 ^{入高付} 代百廿五
 - 同 ^{入高付} 代廿二文
 - ち梅香水油 ^{入高付} 代廿五
 - 同 ^{入高付} 代二百文
 - 同 梅蘭花系 小種り入 ^{入高付} 代廿五
- 右通は右の御進物若ハ桐箱入并曲物入品
 之れは御用元帳等一と云ふ以上

取次所

- 江戸大和橋上上下下 小いつま之之角
- 東石垣口象上下下 二層々 佐助
- 長柄三条下子取上 茶湯 孫吉
- 七条堀川西入下 ます 庄吉
- 湯系 何物々 小吉
- 横林町太字東入 公一々 七吉
- 日吉丸左町上上下下 きくま 治吉
- 中長者何字町西入 折藤々 宗七
- 今出川新町西入 玉一 栄助
- 又上庄二条上上下下 今吉 太吉

